

情 報

全身の疾患に比べ軽視されがちな口腔内の管理の担い手として、歯科衛生士は重要な役割を果たします。しかし、歯科医院に来院する患者さんが皆、必ずしも口腔内の問題を1番大きな悩みとして抱えているわけではありません。患者さんの身体に関する問題をすべて解決するためには、他職種間で連携しそれぞれの視点からケアしていく必要があります。

歯医者は虫歯になったら行くところ、と一般的に考えられていますが、歯が痛くなったから歯医者に行くのではなく、あの歯科衛生士さんに会いに歯医者に行く。私は患者さんに、そう思ってもらえるような歯科衛生士を目指していきたくこのセミナーを通して改めて思いました。

3) 末永愛 (専攻科口腔保健衛生学専攻)

「連携は大切」ということは講義でよく聞いていましたが、実際に他の職種の人たちと論議を進めることは始めてだったのでとても良い経験になりました。初めて会う人と話し合いをし、患者さんの問題点・改善点などみていくことについて、緊張や不安が大きかったのですが、実際に同じ班の人と話をしてみるとそんな心配は一切なく、楽しんでセミナーを受けることができました。

反省として、他職種と連携を取る時は、まず自分の出来ることについて理解・説明出来なければ何事も始まらないので、もっと知識をつけなければならないと感じました。また自分の職だけでなく他職種への理解がなければならないことなど、多くをセミナーで学ぶことが出来たので、機会があれば次も参加してみたいと思います。

4) 佐藤直美 (歯科衛生士学科3年)

私が入ったグループのメンバーは、歯科衛生士、社会福祉士、看護師、薬剤師の4業種5名の学生と、言語聴覚士、薬剤師、義肢装具士の先生が割り当てられました。先生方も学生も、それぞれ専門分野が違ったため、患者さんに対して多方面からの見方ができ、互いを理解するためにもとてもいいメンバー構成だったと思います。

自分の仕事をよく理解しわかりやすくメンバーに伝えると共に、他職種の仕事を出来る限り理解したうえで皆さんと協働していくことがどれだけ大変で、どれだけ大切かを痛切に感じました。

また、私自身の問題点にも気づくことができました。歯科口腔介護は、看護、介護の現場ではどちらかという負担感が重く後回しにされがちです。しかし、口腔内の問題だけに止まらず全身管理にもとても重要な分野です。これをどれだけ他職種に伝えて理解して頂けるかを今回の自分の課題と見据えて臨んだのですが、自分自身でも気づいていない心の中に「歯科口腔介護は後回しに

されるもの」という決め付けがどこかにあり、訪問した病院での担当看護師さんへの質問の際、自分がものすごく遠慮しているということに気づかされました。私自身が患者さんの健康を守るという意識に欠けていたのだと気づかされたのです。それに気づけたおかげで最終日は積極的に発言することが出来、自分の壁を突き壊すためにも役に立ったセミナーだったと思います。

このセミナーは参加してみないと協働の大変さ、必要性がわからないと思います。ぜひ来年以降も開催して、未来の医療従事者であるたくさんの学生に学ぶ場を提供していただければ将来に向けてよりよい医療の提供に繋がっていくものと考えます。

5. 終わりに

今回のワークショップにはファシリテーターとして参加をし、グループの異職種を目指す学生たちが、慣れない症例に四苦八苦し、また、実際の現場を見、患者さんと触れ合うことにより、始めは不安と緊張していた目の輝きが劇的に変化していくところを目の当たりにした。参加した教員も学生も「非常に楽しかった」という感想を述べていた。

歯科医療現場も、歯科医師と歯科衛生士、歯科技工士ばかりでなく、多くの医療・福祉職の協力の下に成り立っている。それぞれが、お互いの職種を理解し、患者さんの情報を共有し、それぞれの意見を述べる事で、始めてチームとしての連携が成り立っていく。

そのためには、教員には広く外の学校がどのような教育を行っているのかを客観的に経験し、ファシリテーションのテクニックを学び、学生には臨床の現場に出る前にチーム医療のトレーニングを是非経験しておいて欲しいと思う。今後、講義や実習の中で取り入れる方法を検討していきたい。

2009年度附属歯科診療所報告

金子 潤¹、石井多恵子²、生野美絵³、青木さつき⁴、鴨井公子⁵、

¹診療所長、²歯科医師、³副歯科衛生士長、⁵ことばクリニック室長、⁴歯科衛生士

附属歯科診療所は、今年度新規採用スタッフ5名(歯科医師2名、歯科衛生士2名、言語聴覚士1名)が加わり、より質の高い歯科医療の提供と実習生教育の充実を目指して、スタッフ全員が努力した1年であった。以下

情 報

に2009年度の重点活動項目、臨床教育、スタッフ研修の状況を報告する。

1. 2009年度重点活動項目

本年度は「インプラント治療推進」および「歯周治療の質の向上」を重点的な活動項目とした。

1) インプラント治療推進

2008年度のインプラント治療導入を受けて、本年度も診療室スタッフが実習セミナー、臨床研修、関連学会等に参加し、知識の獲得と技術の向上に努めた。また、昨年度からの患者1名は、インプラント植立後の経過は良好であり、最終補綴物の製作に向けて経過観察中である。また、今年度は新たに2名の患者に、計3本のインプラント植立術を行った。いずれも経過良好であり、このうち1名はすでに上部構造を装着した。

2) 歯周治療の質の向上

2009年10月の1ヶ月間、当診療所の歯周治療の現状調査を実施した。矯正治療および予防処置実習以外の来院患者のべ1,352名中387名(28.6%)が来院時に歯周治療を実施しており、診療系歯科医師(4名)の平均は25.7%、教育系歯科医師(5名)および非常勤歯科医師(1名)の平均は40.4%という頻度であった。スクレーピング(36.4%)やSRP(23.0%)などの処置は、歯周治療全体の約60%を占めていたが、P-SP、SPT、メンテナンスといった処置も約37%と高い割合を示した。以上より、歯周基本治療およびメンテナンス体制は充実しているが、歯周外科治療の質の向上が今後の課題である。また、PMTCの歯科衛生士患者担当制はほぼ確立したが、今後さらに当診療所におけるPMTCをアピールし、患者数を増やしていくよう検討したい。

2. コ・デンタルスタッフの臨床教育

本学各学科、各専攻科の多様な実習形態に対応して受け入れを行った。また外部実習生も積極的に受け入れた。

1) 歯科衛生士学科臨床実習

(1) 実習生

- ・2009年度3年生93名(2009年4月～9月)
- ・2009年度2年生70名(2009年10月～)

7班編成により1班計9週間のローテーション制

(2) 実習内容

- ・歯科予防処置実習

歯周病予防処置…1人10症例以上

齲蝕予防処置…1人10症例以上

- ・歯科診療補助実習

一般歯科診療、矯正歯科診療、障害者歯科診療、
歯科訪問診療、受付対応、消毒滅菌等

- ・歯科保健指導実習

予防患者、介護保険施設、保育園、小学校、中
学校等における個人および集団指導

- ・歯科口腔介護実習

西新潟中央病院

- ・保健所実習

坂井輪地域保健福祉センター、西地域保健福祉
センター、東地域保健福祉センター

- ・歯科技工室見学実習

- ・ことばクリニック見学実習

- ・臨床ゼミ

2) 口腔保健衛生学専攻科臨床実習

(1) 実習生

- ・2009年度1年生7名(2009年4月～)

3～4名ずつ1ヶ月交代のローテーション制

(2) 実習内容

・歯科診療室Mit体制に組み込まれ、チーム歯科医
療のなかで歯科診療補助業務全般を経験。特に歯
周治療を重点的に担当した。

・歯科予防処置実習、歯科保健指導実習、歯科口腔
介護実習においては、歯科衛生士学科実習生の指
導を担当。

・診療所歯科衛生士指導のもと、毎月7時間程度の
模型実習により基本的手技の習得を行った。

3) 歯科衛生士学科臨床実習直前体験実習・早期臨床体 験実習

(1) 実習生

- ・2009年度2年生70名(2009年6月～7月):1グルー
プ3～4名で90分

- ・2009年度1年生62名(2009年6月～7月):1グルー
プ2～3名で45分

(2) 実習内容

臨床現場の雰囲気を経験し、臨床実習前の早期に体験し、歯
科医療における歯科衛生士の役割を理解させた。本
年度は1、2年生合同で行った。

4) 生体技工専攻科臨床技工実習

(1) 実習生

- ・2009年度2年生4名(2009年4月～)

- ・2009年度1年生7名(2009年7月～)

(2) 実習内容

・附属歯科診療所の歯科技工物の製作

有床義歯:義歯完成までの一連の技工操作(個人
トレー、咬合床、蠟義歯、維持装置、完成義歯)

情 報

歯冠修復：メタルコア，インレー，全部鑄造冠，硬質レジン前装冠，硬質レジンジャケットクラウン，個歯トレー，テンポラリークラウン

その他：平行模型，ホワイトニング用カスタムトレー

・患者担当制の歯科技工物製作および診療見学

全部床義歯，部分床義歯について

5) 保健言語聴覚学専攻科臨床実習

(1) 実習生

・2009年度2年生3名(2009年8月～11月)

(2) 実習内容

・診療所言語聴覚士指導のもと，実際の臨床業務(評価・訓練)に携わり現場の知識と技術の習得を行った。

6) 外部実習生の受け入れ

(1) 新潟医療福祉大学医療技術学部4年生1名

(2009年5月～7月)：ことばクリニック

(2) 新潟医療福祉大学医療技術学部3年生1名

(2009年11月～12月)：ことばクリニック

(3) 新潟市立養護学校教諭3名(2009年8月)：

ことばクリニック

3. スタッフ研修

1) 診療所医局会セミナー

○金子 潤：院内通信用無線システム「FBS-2022」に関する診療室内申合せ事項について。(2009年4月17日)

○市川伸彦：第1回保険診療勉強会(2009年4月17日)

○木暮ミカ：インプラント埋入手術症例報告。(2009年5月15日)

○石井多恵子：新潟こばり病院CT画像診断説明会報告。(2009年5月15日)

○市川伸彦：第2回保険診療勉強会。(2009年5月15日)

○中島雪彦(サイブロン・デンタル)：新しいPMTCおよび消毒滅菌関連機材について。(2009年7月18日)

○市川伸彦：第3回保険診療勉強会。(2009年7月18日)

○繁野和也(ヨシダ)：レセコンシステム「Wave Fine 3」について。(2009年9月18日)

○梨本創一(MIC)：レセコンシステム「U-BOX」について(2009年9月18日)

○佐藤浩子：「第2回東北感染制御ネットワークフォーラム」参加報告-とくに新型インフルエンザ，小児感染症，病院・介護施設などでの感染症対策について-。(2009年9月18日)

○河内 崇(ジーシー)：歯科用シリコーン印象材「フュージョンII」について。(2009年10月16日)

○渡辺高志：第1回明倫SD21「明倫短期大学の現状」。(2009年11月20日)

○野村章子：ノンクラスプ義歯について。(2009年11月20日)

2) その他の研修等

○日本歯科大学新潟病院口腔インプラントセンターにてインプラント臨床研修：木暮ミカ(2007年9月より継続中)

○日本歯科審美学会「ホワイトニングコーディネーター講習会」：瀬賀紗都子(2009年5月17日)

○社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「PTCと患者プレゼンテーション」：小林 梢，松木麻美，坂爪 恵(2009年5月17日)

○日本コミュニケーション障害学会第35回学術講演会；演題発表，ワークショップ主催，準備委員：青木さつき，渡辺紗江子(2009年5月30日，31日)

○総合生協；子育て応援情報誌「クルコママ」-今月の特集"むし歯予防"執筆：金子 潤，深井裕子(2009年6月号)

○第9回美容口腔管理学会学術講演会；演題発表：坂爪 恵，瀬賀紗都子，金子 潤(2009年6月13日)

○社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「有病者歯科治療と救急蘇生講座」：講師：石井多恵子，受講：小林 梢，深井裕子，瀬賀紗都子(2009年6月21日)

○沖デンタルフェア特別セミナー：「歯科衛生士にできる審美ホワイトニング-その知識と役割；ステップアップ編-」：講師：松木麻美，スタッフ：坂爪 恵，瀬賀紗都子(2009年6月28日)

○あかね保育園子育て支援センター講演：「ことばと発音の発達について」：講師：青木さつき(2009年7月7日)

○新潟大学教育学部附属特別支援学校授業参観，協議会参加：青木さつき(2009年7月10日)

○社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「スケーリング・ルートプレーニングの実際-講義および相互実習-」：小林 梢，深井裕子，瀬賀紗都子(2009年7月12日)

○社団法人発達協会実践セミナー「ことばや文字の指導の実際-個々に応じた教材づくりへのヒント」：渡辺紗江子(2009年8月3日，4日)

○平成21年度第1回新潟市(東・中央・西区)就学指導委員会：青木さつき(2009年8月18日)

○新潟大学教育学部附属特別支援学校小学部拡大研究部会：青木さつき(2009年8月25日)

○社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「インプラントアシスタント講座」：スタッフ：小林 梢，受講：松木麻美，坂爪 恵，深井裕子，瀬賀紗都子(2009年8月30日)

○文部科学省戦略的大学連携支援事業-くらしの中にある大学「模擬講座」，白い歯の魅力～ホワイトニング～：

情 報

講師；金子 潤，スタッフ；松木麻美，坂爪 恵，瀬賀紗都子（2009年9月12日）

- 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「摂食・嚥下機能訓練法の実践」：スタッフ；中尾敦子，受講；小林 梢，瀬賀紗都子，石井静香（2009年9月13日）
 - 第2回東北感染制御ネットワークフォーラム：佐藤浩子（2009年9月18日）
 - 明倫短期大学学会第6回月例研究会発表「診療所におけるPMTCの実践」：中尾敦子，鴨井公子（2009年10月22日）
 - 第6回外観先端医療シンポジウム「真の美と健康を追い求めて」：小林 梢，生野美絵，水橋庸子，坂爪 恵，深井裕子，瀬賀紗都子，工藤百恵，石井静香（2009年10月25日）
 - 新潟大学教育学部附属特別支援学校平成21年度特別支援教育研究会：青木さつき，渡辺紗江子（2009年10月23日）
 - 新潟看護ケア研究学会第1回学術集会（交流セッションA）：講師；青木さつき（2009年10月24日）
 - 日本歯科審美学会セミナー「歯科衛生士が主役になるホワイトニング治療」：松木麻美（2009年11月1日）
 - 新潟県歯科医学大会；新潟県歯科技工士会講演「総義歯における私が考える咬合の基礎知識」：光村香里（2009年11月8日）
 - 日本歯科審美学会「ホワイトニングフェスティバル」：金子 潤，坂爪 恵，瀬賀紗都子（2009年12月20日）
 - 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「歯科衛生士のためのホワイトニング講座」：講師；金子 潤，松木麻美，スタッフ；瀬賀紗都子（2010年2月7日）
- 3) 資格取得
- 日本歯科審美学会認定ホワイトニングコーディネーター：瀬賀紗都子（2009年6月）

4. その他の活動

1) 歯科健診

2009年4月～11月にかけて，市内9施設（新潟市立曾野木中学校，新潟市立両川中学校，有明荘，有明ハイツ，しんあい園，もぐら工房，うちの桜園，ばんだい桜園，有明園）に，歯科医師のべ13名，歯科衛生士のべ13名，歯科衛生士学科実習生28名を派遣して歯科健診を行った。

2) 明倫祭での出店

2009年度明倫祭に出店し，来場者に対してオーラルケアグッズを宣伝，販売した。

野村研究室プレゼンテーション報告

専攻科生体技工専攻生が歯科医療の分野を広く学ぶ目的で，平成20年1月から平成21年12月までの期間に9テーマの野村研究室プレゼンテーションを開催した。専攻生に加えて教員や学外研究者の参加もあり，それぞれの立場から活発な意見交換を行った。なお，平成19年以前の開催報告と抄録は本誌11巻1号に掲載されている。

歯科技工士学科 野村章子，丸山 満

第49回：平成20年1月31日

「歯周組織を考慮した補綴処置」

新潟市 村田歯科医院

村田 雅史

第50回：平成20年2月21日

「クリスタルアイの紹介」

オリンパス株式会社

野見山 武

ドイツカルテンバッハ社日本総代理店，株式会社城楠歯科商会

渡辺和朗

第51回：平成20年2月21日

「歯周補綴の実践」

新潟市 村田歯科医院

村田雅史

第52回：平成20年5月12日

「補綴物の製作課程における除菌方法」

太平科学産業株式会社東京支店営業2部

佐々木順一

平成19年4月，医療法の改正に伴い歯科医院においても院内感染予防のためのマニュアルの整備・スタッフへの指導教育が義務付けられた。そして7月には日本補綴歯科学会より「補綴歯科治療過程における感染対策指針」が発表され，院内感染対策についての意識が高まっている。その概要は，補綴歯科治療過程において，診療室と技工室それぞれが責任を持って感染の危険性のあるものは適切な処置をして外部に出す必要があると明記されている。したがって，印象体・試適後の補綴物・完成補綴物・修理義歯等は適切な処理をする必要がある。その際，

・印象体を溶液に浸漬することで，寸法変化・面荒れなどを起こさないか

・多種多様な材料からなる技工物や補綴物に対して影響